

3月定例会

ふるさと応援寄附金を活用し 次の100年へ

令和3年3月定例会は、3日から19日までの17日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は人事案1件、規約の変更案2件、町道路線の変更案1件、条例案8件、予算案12件で、すべてを原案のとおり可決しました。

また、委員会発議1件を可決、発議1件を否決、請願1件は特別委員会を設置し継続審査することになりました。

一般質問には3議員が3項目について町政を質しました。

人事案の同意

宇美町監査委員の選任

平島 忠雄氏(再任)

委員会発議

宇美町議会会議規則の一部改正

議会への欠席事由を明文化するのと同時に、出産については母性保護の観点から産前・産後の欠席期間を規定。

また、請願者の利便性の向上を図るため、請願者に求めている押印の義務付けを見直す。提出者

議会運営委員会

委員長 南里 正秀議員
(全員賛成で可決)

議員発議

後期高齢者の医療費窓口負担引き上げの見送りを求める意見書

提出者 入江 政行議員
賛成者 丸山 康夫議員

安川 繁典議員
平野 龍彦議員
脇田 義政議員
小林 征男議員

問 引き上げの見送りと
なる財源の確保は。

答 入江議員 国が5兆
円の防衛費の一部を充
当すれば財源の確保はできる。

反対討論

飛賀 貴夫議員

制度改革後も所得の低い方については1割負担が維持される。今後、団塊の世代が後期高齢者となり、景気の先行きが不透明な中、現役世代の負担がさらに増加するため、慎重な議論が必要である。

賛成討論

丸山 康夫議員

窓口負担が引き上がった場合、受診を控える人が増えることに繋がるため、避けるべきであり、地方議会から政府に意見していくことが地方議会の役割である。

(議長裁決により否決)

補正予算

3月定例会で可決した補正予算 (万円未満四捨五入)

| 会計名 | 補正額 | 補正後の予算 | 表決結果 |
|--------------------|----------|------------|------|
| 令和2年度一般会計 | 3億6277万円 | 177億473万円 | 全員賛成 |
| 令和2年度一般会計(追加) | 417万円 | 177億890万円 | 全員賛成 |
| 令和3年度一般会計 | 704万円 | 118億8036万円 | 全員賛成 |
| 令和2年度後期高齢者医療特別会計 | ▲144万円 | 4億5845万円 | 全員賛成 |
| 令和2年度国民健康保険特別会計 | 6499万円 | 41億414万円 | 全員賛成 |
| 令和2年度上水道事業会計 | 収益的収入 | 2566万円 | 全員賛成 |
| | 収益的支出 | ▲998万円 | |
| | 資本的収入 | ▲864万円 | |
| 令和2年度流域関連公共下水道事業会計 | 収益的収入 | ▲1962万円 | 全員賛成 |
| | 収益的支出 | 1196万円 | |
| | 資本的収入 | ▲3646万円 | |
| | 資本的支出 | ▲5226万円 | |

請願

宇美町議会議員の定数を14人から12人とする請願

請願者 山ノ内自治会長

西山 和俊氏

ほか9名

議員全員による宇美町議会議員定数調査特別委員会を設置、付託して審議することとした。

紹介議員

飛賀 貴夫議員
黒川 悟議員